

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 3 月 28 日(2025.3.28)

【公開番号】特開 2024-150445(P2024-150445A)
【公開日】令和 6 年 10 月 23 日(2024.10.23)
【年通号数】公開公報(特許)2024-198
【出願番号】特願 2024-99523(P2024-99523)
【国際特許分類】

C 0 7 K 1 6 / 2 8 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 7 K 1 6 / 2 8 Z N A

C 0 7 K 1 6 / 2 8

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 3 月 19 日(2025.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒトクローニン 6 (C L D N 6) タンパク質 (配列番号 : 2 0 0) に結合する抗原結合タンパク質であって、

(i) G F T F S N Y W (配列番号 : 2 3) を含む H C C D R 1 、

(i i) I R L K S D N Y A T (配列番号 : 2 4) を含む H C C D R 2 、

(i i i) X D G P P S G X (配列番号 : 4 5 7) を含み、1 位の X が N であり、8 位の X が S、T、A、C、または、Y である H C C D R 3 、

(i v) E N I Y S Y (配列番号 : 2 0) を含む L C C D R 1 、

30

(v) N A K (配列番号 : 2 1) を含む L C C D R 2 、及び、

(v i) Q H H Y T V P W T (配列番号 : 2 2) を含む L C C D R 3 、を含む、抗原結合タンパク質。

【請求項 2】

8 位の X が S である、請求項 1 に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項 3】

8 位の X が T である、請求項 1 に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項 4】

8 位の X が A である、請求項 1 に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項 5】

40

8 位の X が C である、請求項 1 に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項 6】

8 位の X が Y である、請求項 1 に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項 7】

抗原結合タンパク質が抗原結合抗体フラグメントであり、好ましくは s c F v、F (a b ')₂、F a b、F a b ' 及び F v からなる群から選択される、請求項 1 に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項 8】

抗原結合タンパク質が抗体である、請求項 1 に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項 9】

50

抗体が、(i)モノクローナル抗体、(i i)ヒト抗体、ヒト化抗体、もしくはキメラ抗体、または(i i i) I g Gである、請求項 8 に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項 1 0】

I g G が I g G 1、I g G 2、I g G 3 及び I g G 4 からなる群から選択され、好ましくは I g G 1 である、請求項 9 に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項 1 1】

請求項 1 から 1 0 のいずれか 1 項に記載の抗原結合タンパク質と細胞傷害剤または化学療法剤とを含むコンジュゲート。

【請求項 1 2】

リンカー、好ましくは切断可能なリンカーをさらに含む、請求項 1 1 に記載のコンジュゲート。 10

【請求項 1 3】

細胞傷害薬または化学療法剤がリンカーを介して抗原結合タンパク質にコンジュゲートされている、請求項 1 1 に記載のコンジュゲート。

【請求項 1 4】

化学療法剤が抗有糸分裂薬であり、好ましくはアウリスタチンであり、最も好ましくは M M A E である、請求項 1 1 に記載のコンジュゲート。

【請求項 1 5】

化学療法剤がリンカーを介して抗原結合タンパク質にコンジュゲートしている M M A E である、請求項 1 1 に記載のコンジュゲート。 20

【請求項 1 6】

(a) 請求項 1 から 1 0 のいずれか 1 項に記載の抗原結合タンパク質または請求項 1 1 から 1 5 のいずれか 1 項に記載のコンジュゲート；及び(b) 薬学的に許容される担体、希釈剤、及び / または賦形剤を含む、医薬組成物。

【請求項 1 7】

がんの治療に使用するための請求項 1 から 1 0 のいずれか 1 項に記載の抗原結合タンパク質または請求項 1 1 から 1 5 のいずれか 1 項に記載のコンジュゲート。

【請求項 1 8】

(a) 請求項 1 から 1 0 のいずれか 1 項に記載の抗原結合タンパク質を試料と接触させ、(b) C L D N 6 に結合した抗体またはその抗原結合フラグメントを含む免疫複合体をアッセイすることを含む、試料中のクローディン 6 (C L D N 6) を検出するためのインビトロの方法。 30

【請求項 1 9】

対象におけるクローディン 6 (C L D N 6) 陽性がんをインビボで診断する方法に使用するための、請求項 1 から 1 0 のいずれか 1 項に記載の抗原結合タンパク質。